



2022.4.27 第16号

公民館訪問から

◆実践事例を紹介します◆

😊 地域課題に対応した取組

《郡山市永盛地域公民館》

時代のニーズに沿って、青少年対象事業でプログラミング講座を実施している。今年度は、コロナ禍の中、調理室が使えないため、お菓子作りの過程を録画し、YouTubeを使って動画配信し、参加者が自宅にいながら公民館講座に参加できる取組を行った。講座の運営は、日本大学や郡山市内の民間企業と連携しての実施で、公民館主事がアイディアを出し、地域住民が興味関心を抱く講座となっている。



《郡山市行徳地域公民館》

- コロナ禍で公民館事業が中止となる中、「コロナ禍だからこそ実施したい講座」を計画した。青少年を対象とした「ミニチュアフードをつくろう」である。小学生に、ミニチュアフードづくりを体験してもらい、気軽につくり、楽しめることで、お家時間の過ごし方を工夫してもらおうというものである。

※ミニチュアフードとは
樹脂粘土などを使って、本物の食品そっくり
作られた精巧なミニチュア



- 各種コンクールが中止となり、演奏の場を求めていた郡山北工業高等学校の生徒たちを救済するという目的で、公民館主催でコンサートを実現させた。感染症対策を万全に、当日は地域の方がたくさん来館し鑑賞した。生徒からは、「練習の成果を披露できる場をつくっていただき心より感謝します。」との言葉があった。



このような取組が広がるといいですね

おじいちゃん、おばあちゃんのための学校ごっこ 西袋公民館「生き生き健康学びのサークル小学校体験」

この講座は、**高齢者を対象にした講座**です。漢字計算ドリルを使って「脳トレ」をしたり、昔話を声に出して読んだり、脳の活性化を進めています。また、保健師さんに血圧チェックをしてもらったり、健康相談を行ったりして健康維持の活動をしています。どの公民館でも行うような高齢者向けの講座ですが、とても素敵な仕掛けがあります。震災後、公民館で実施するようになりましたが、震災前は小学校の特別教室をお借りして公民館職員が講座を運営していました。参加者は、幼かった頃を思い出し、講座に参加するため「学校に登校」するのです。まるで「おじいちゃん、おばあちゃんのための学校ごっこ」のような事業ですね。



活動が終了すると、子どもたちの下校を見守る「見守り隊」としてボランティア活動をしします。前もって日程を合わせれば、学校での授業のボランティアも行います。「昔遊び体験」や「昔のくらしの勉強」にも参加していただけます。高齢者の健康維持のための活動ですが、学校への貢献もでき、子どもとの触れあいも体験できる、お年寄りにとっても子どもにとっても、地域にとっても素敵な活動だと思います。こんな活動がそれぞれの地域で広がればいいなと感じました。

